

町のバランスシート

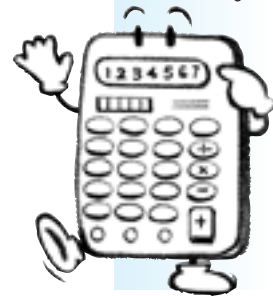
町では、財政状況を収入と執行（支出）の形で公表しております。

ここでは、バランスシートを用いて財政状況をお知らせします。

バランスシートとは？

町の財政状況を明らかにするために、毎年3月末現在で作成している計算書で、すべての資産・負債・純資産（資本）の現

在の状況を記載し、一覧できるように表示したもの。一方（貸方）に負債と純資産（資本）を、他方（借方）に資産を記載し、両者を対照させるよう表示することから、貸借対照表ともいいます。



〈町のバランスシート〉

町民一人あたりの資産は102万円、負債は29万円

【借方】

資産 336億円

町が所有している財産の内容と金額です。

【内訳】

公共資産 308億円
(道路、公園、学校、庁舎など)

投資等 18億円
(投資及び出資金など)

流動資産 10億円
(現金、預金、財政調整基金など)

計 336億円

【貸方】

負債 95億円

(公共資産分 75億円)

町の借金や将来世代の負担で返済していく債務

純資産 241億円

(公共資産分 233億円)

これまでの世代が既に負担して、支払が済んでいる正味の資産

計 336億円

バランスシートから何がわかるの？

これまでの世代が担ってきた負担とこれからの世代が将来担う負担の割合が分かります。

企業において資産を取得する場合は、将来に負担を残さないような経営が求められます。

しかし、地方公共団体においては、施設を整備する際、借金をしてその整備費用を賄い、その借金を返済してもらうことで、その施設の整備費用を将来利用する世代に負担してもらうという住民の世代間の公平性が求められる面もあります。

なお、近隣町の将来世代の負担割合と比較しても、大磯町の数値は決して高い数値ではありません。

また、平成16年度からほぼ同水準を推移しており、世代間のバランスは保たれていると考えられています。

過去5年間の世代間負担の割合

年度	項目	これまでの世代の負担割合	将来世代の負担割合
20年度		75.6%	24.4%
19年度		74.6%	25.4%
18年度		73.4%	26.6%
17年度		73.3%	26.7%
16年度		73.3%	26.7%

*近隣町の将来世代の負担割合と比較しても大磯町は低い数値を保っていますが、将来世代へ負担を増やすことがないよう、この水準を保っていく必要があります。

これから町はどうしていくの？

町財政を取巻く環境は絶えず変化し続けています。

適正な財政運営を維持するためには、世代間負担の割合のバランスを保ち、町債の借入れ（借金）の抑制により、負債をこれ以上増やさないよう心掛け、将来世代への負担を増やすことはできるだけ避けていかなければならないと考えています。

今後も適正な財政運営を維持

別表

○これまでの世代の負担割合…75.6%

[純資産（公共資産分）233億円 ÷ 公共資産 308億円] × 100

これまでの世代によって既に返済された割合で、将来への負担を考えた場合、負担比率が高い数値であることが望まれます。

○将来世代の負担割合…24.4%

[負債（公共資産分）75億円 ÷ 公共資産 308億円] × 100

将来返済しなければならない割合で、負担比率が低いほど将来世代への負担が少なく済みます。

するために、このバランスシートを継続的に作成し、分析に努めてまいります。

※なお、町では「バランスシート」のほか、「行政コスト計算書」「資金収支計算書」「純資産変動計算書」についても作成しています。詳しくは、ホームページでご覧になれます。

◎問い合わせ

財政課 ☎内線216